

XIAP 阻害剤（複素環化合物）の日本における特許査定のお知らせ

ファイメクス株式会社（代表取締役：富成祐介、所在地：神奈川県藤沢市、以下「当社」）は、当社が創出した XIAP 阻害剤^{*1}（複素環化合物）の物質特許（出願番号：特願 2020-534723）について、日本における特許査定^{*2}の連絡を受領しましたのでお知らせいたします。

このたび特許査定を受けた化合物群は、新規の構造を有する XIAP 阻害剤であり、E3 リガーゼである XIAP に結合して抗腫瘍作用を示すことが期待されています。当社が注力する標的タンパク質分解誘導剤は、E3 リガーゼに結合する化合物を用いて標的タンパク質を分解に導く技術であり、当該化合物を標的タンパク質分解誘導剤に利用することも可能です。当社では、当該化合物群を用いた標的タンパク質分解誘導剤の開発を進めています。

本特許査定は、昨年の米国（出願番号: 17/263,580）に続く 2 か国目となります。現在、ヨーロッパ、中国をはじめ世界各国で同様の特許が出願済みもしくは審査中の状態にあり、今後、当社の知的財産権がさらに強化されていくと期待されます。当社は今後も引き続き、標的タンパク質分解誘導剤に関する知的財産ポートフォリオの充実に努めるとともに、当該技術を用いた革新的な医薬品の創出に向けて尽力してまいります。

【用語解説】

※1 XIAP について

XIAP (X-linked inhibitor of apoptosis) は、IAP (Inhibitor of apoptosis protein)ファミリーに属する E3 リガーゼです。XIAP は、多くのがんで発現が亢進しており、がんの悪性化、予後不良と正相関することが報告されているため、XIAP を阻害することにより抗がん作用を示すことが期待されています。また、VHL や CRBN と並び標的タンパク質分解誘導剤に利用可能な E3 リガーゼのひとつとして広く知られています。

※2 特許査定について

各国特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を納付することによって登録特許となり、該当する国において特許権が発生することになります。

【ファイメクス株式会社について】

ファイメクスは、タンパク質分解誘導を作用機序とした新規医薬品の研究開発を進める創薬ベンチャー企業です。独自の E3 リガーゼ結合分子と創薬基盤技術「RaPPIDS™」を基に、

これまで“undruggable (創薬困難)”とされてきたがん疾患に関連するタンパク質を標的とする複数の First-in-class 新薬開発プログラムを進めています。当社は、RaPPIDS™を社内プロジェクトだけでなく、国内外の企業、研究機関との共同研究に利用することで、幅広い医薬品ターゲットとアンメットメディカルニーズに対処し、世界中の患者さんと家族にとっての Life-saving medicine を提供して参ります。詳細はホームページ <https://www.fimecs.com/> をご覧ください。

【RaPPIDS™について】

RaPPIDS™ (Rapid Protein Proteolysis Inducer Discovery System) は迅速に標的タンパク質分解誘導剤を創出するための創薬基盤技術です。当社独自のノウハウと Diversity Oriented Synthesis により、標的タンパク質分解誘導剤の構成要素である標的タンパク質結合分子、リンカー、および E3 リガーゼ結合分子の最適な組み合わせを迅速に探索評価することが可能です。

【本件に関するお問い合わせ先】

ファイメクス株式会社

神奈川県藤沢市村岡東二丁目 26 番地の 1

E-mail : info@fimecs.com Tel : 0466-96-0261